

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 28日

事業所名 ドーユーラボなは

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2		パソコンでの活動をする際には問題ないが、体を動かすには少し狭く、児童の遊びを制限してしまうことがある。改善していきたいと思うが、具体的な案は現状思いついていない。	家具の配置を変えるなど、十分なスペースが確保できるよう検討していきます
	2 職員の配置数は適切である	2	3		人員確保の検討をしている休みの職員がいる際も、追加で職員を配置してきている送迎時に臨機応変な対応が必要児童人数を増やす上では苦しくなる	最低人員は確保しているが、事故が起こらないよう気をつけていきます
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	3	今後さらなるバリアフリーが必要な児童の利用があった場合、必要な対応を行う段差やコード類が剥き出しになっているのを減らす現況を残したままでの可能な分の検討は必要	児童訓練室、相談室は段差の解消に努めている。更なる改善を職員で確認し、改善に努める
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2	2	1	できている職員、定着できていない職員がいるので声かけミーティングを行うイベント後など振り返りのアンケートを行っている現況を残したままでの可能な分の検討は必要	PDCAサイクルの定着が完全ではないので、定着できるよう事業所内の環境整備を行う
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	2		不明	アンケートの結果は事業所で共有し、業務改善につなげる
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			公開している 不明	アンケートはHPで公表している。公表後に職員に共有を行う
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2	1	第三者の評価を行なっているか把握していない	可能な限り外部評価を受けられ環境を整えていきたい
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2		できることならさらに頻度を増やし、研修も設けたいが日々の業務が忙しく職員の業務過多が気になる研修のチラシを回している	外部研修の参加も含め、不定期ではあるが研修を行うようにしている
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			モニタリングや児童毎の課題の共有は密に図りやすい環境だと思う	児童の情報を共有し、計画に落とすようにしている	

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		M-chatなどのスクリーニングツールの共有はしておく必要はあるかもしれない	標準化されたアセスメントツールを参考に施設に通う児童に合わせた内容で今後も行なっています
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		ドリルチームでのミーティングや、事業所内でのミーティングを行い、いろんな意見を取り入れるタイミングが設定されている チームでも事業所内でも相談して立案できている	チームごとにMTGをしたり、担当を割り振って活動内容を決めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		長期休みにしかできないこと、今児童にとって必要なことがある際は臨機応変に内容を変えている 職員がローテーションでドリルを作ることで、いろんな角度から様々な活動ができている。 担当も変わり、活動内容も固定化はない	長期休みの時には平日にできないことを活動に盛り込むようにしている ドリルではいろんなテーマで制作している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	休暇毎のスケジュールなど設定しているがきめ細やかかは不明	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ取り組むようにしているが、きめ細やかかは不明なので、活動後は振り返りをおこなうにしたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		職員間での共有を早めに行うことは意識している	児童に変化が見られた時などは職員間で共有し、計画に盛り込むようにしている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2	3	ドリルの内容によっては役割分担を行なっている 必要な場合には時間をかけて取り行っている	ドリルの内容によっては職員間で事前確認を行っている。また、個別対応が必要な児童は職員間で役割や対応を確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	毎日の支援のなかで、悩むことや対応に困った時など、その日で共有しようという雰囲気です！ 児童の問題行動やトラブルがあった際には送迎後に共有をおこなっている。 支援後は報告と次回対応の注意事項を共有している	送迎終了後などに児童の情報を共有するようにしているが、共有だけではなくケース会議等の開催が必要な場合の提案も安定して行い得るようにしたい
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	職員間で割り振りをして記録をつけている 忙しい時期にも漏れなくできる工夫が必要	児童記録をとることはできている。今後は記録の内容を検証できるようにする
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	1		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	3	下校時刻の変更連絡など、必要に応じて連絡を取り合っている 保護者からの連絡に頼るケースもあるので、学校側へ先立った調整も考慮したい	下校時間の変更については保護者からの連絡で調整を行っている。児童から変更の申し出があった際も保護者に確認をとっている

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	不明	現状、対象者がいないので体制作りは行っていないが、今後検討する	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	必要なケースはアセスメントシートなどで共有している	支援に必要な情報は職員間で共有している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合の事例がないので、あった際には連携を図る 不明	事例がないので実施したことはないが、対象者がいたら対応する	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2		3	十分かは不明	今後も連携を行い、研修等が受けれるようにします
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	3	近くに児童館がないことでできていません。学童さんとは、今後イベントなどで交流ができるよう、アンテナを貼ったり小学校のお迎え時に交流を持っていきたいと思えます。地域参加型のイベント等は行えていない。今のところはなし	近隣に児童館がないため交流できていないが、今後は地域のイベントへの参加を検討する
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2		送迎時やLINE等で伝達を行っている。保護者と共有する機会数によるため、機会の少ない保護者への工夫は必要	日々の活動は保護者に報告しているが、児童の課題等については細かく報告はできていないので今後は保護者に児童の課題も報告していく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2		保護者対応が職員の力量に左右されるので、しっかりと研修を設けて、ベースの対応力を上げていく必要を感じます ペアレント・トレーニングの研修等を保護者と共有する機会を増やす環境整備が目標	保護者に必要な講演会等の情報があれば共有している。また、トレーニング等の情報提供もおこなっている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				契約時に説明を行っている。その後も必要な時には説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2		保護者から相談があった際には対応している 保護者の要望や悩み解決に努めてはいる レスポンスを図る環境整備を考えたい	保護者からの悩み等に関する相談には対応している。 適切な助言ができるよう言葉使いに気を付けます
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		保護者が交流できる機会有るイベントを開催した これから機会を増やしたい	今後は保護者会等を計画し、交流が持てるようにする	

保護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	保護者様やお子様からご意見があった場合は職員間で共有し、話し合っている。 事後共有から対応方法を議論している	保護者や児童から上がった意見は職員間で共有し改善に努めている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				
	35	個人情報に十分注意している	5		個人情報の書類は鍵付きの棚に保管している	今後も個人情報の取り扱いに気を付けていきます	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	1	配慮しているつもりになっていないかのゼロベースの振り返りを意識したい	配慮しすぎたり、不測がないよう適正に対応していきます	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている		2	3	地域のイベントについて告知を行うことはある 通所児童のプライバシー保護も兼ねて考慮すると難しいケースもあるように感じる	地域のイベントがあった時は児童に共有することはあるが、事業所としては参加していない。通所児童の個人情報に気を付けて対応していきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2	1	職員にはできているが、保護者への周知ができていないので、保護者を交えた訓練等今後、開いていく	保護者や児童への周知が不十分なので今後はマニュアルを共有していきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2		3	児童への避難場所の周知など意識的に周知したい	活動時間の違いや送迎等もあり実施できていない。次年度は全児童が参加できるようにする
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止研修を社内でおこなっている	必要な研修を社内で行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	2	医師の指示書を保護者と共有することができていないので保護者との密な連携を取っていく 食物アレルギーには配慮しているが、医師の指示書に基づいているのか把握していない	医師の指示書に基づく対応は行っていない。保護者からの聞き取りと医療機関との連携が取れるようにする
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		共有されている 充分にできているかは不明	ヒヤリハット発生後は職員間で共有している。書類の保管場所などを職員に再確認してもらい、事例を振り返れるようにする	